



WEEKLY

なごや ちくさ

題字 黒野清宇

名古屋千種ロータリークラブ
 承認 1982年 8月24日
 例会日 火曜日 12:30
 例会場 愛知厚生年金会館
 事務局 TEL763-5110 FAX763-5121
 会長 魚津常義
 幹事 二村 聡
 I.T委員長 油田弘佑

No.27

超 我 の 奉 仕

SERVICE Above Self

2005~2006年度 RI会長 カール・ヴァイルヘルム・ステンハママー

きょうの例会
 第1124回 平成18年 2月28日(火)

友愛の日

先週の記録
 第1123回 平成18年 2月21日(火) 晴

◆ “我等の生業”

◆出席報告

会員	57 (54) 名	出席	40名
出席率	74.07 %		
前々回	2月9日 (修正出席率)		92.31%

◆ゲスト紹介

ボーズ感性工学リサーチ(株)	大山 竜尚様
ボーズ感性工学リサーチ(株)	宮本 徹也様

二村幹事挨拶

1. ガバナー補佐より青少年交換、14名海外派遣の選考の結果、2名のホストクラブが決まらないため留学ができないので受入を検討下さいとのご依頼がありました。

魚津会長挨拶

皆さんこんにちは
 本日は仏像についてお話しさせていただきます。

「仏像に表現されているもの」

仏教の真髓

仏像とは、仏教における信仰の対象として造られたものです。ですから仏像には仏教の教え、仏教の真髓がさまざまな形として表現されています。いかえれば、仏像が仏教を語っている、ということにもなります。ですから、仏教にまったく関心がないという人とか、仏教以外の宗派の人、たとえばキリスト教の人たちでも、仏像を見れば「ああ、美しいな」とか、「やさしそう」とか、「心が安らいだ」といった感情が湧くことがあります。そのとき、湧いた感情そのものが、実は、仏教の真髓をその仏像が語っているということであり、またその見た人は、仏教の真髓にふれたということにもなるのです。

仏教の真髓というのは、いろいろな経典にすでに詳

しく書かれています。ところが、この経典に書かれている文字は難しく、ほとんどの人はその内容の理解に困っています。たとえば、今日では「般若心経」を唱えたりする人がたくさんいらっしゃいますが、それはお経の文字についている仮名のほうを読んでいる場合が多いと思います。ですから、その漢字がどんな意味で、何が書いてあるのか、ということになりますと、なかなか難しいのです。このように意味が読み取れない人たちにとっては、目の前に万卷の経典が積んであっても、残念ながら仏教の真髓にふれたということにはなりません。

では、近くのお寺に行ってお坊さんにちょっと聞いてみようか、ということになります。しかし、お寺で「このお経の文句は、どういうことをいっているのか」と聞いたとしても、そのお坊さんが、わかりやすく話してくれればいいのですが、もしも難しい言葉で説明されると、よけいにわからなくなってしまいます。

たとえば、いろいろな修行を積み、悟りを開いたという高僧のところへ行って、般若心経の中の「一切皆空である」という一節について、どういう意味か聞いたとします。そのとき高僧が、ただ「それは、あなたそのものである」などと答えられた場合、さらにその高僧の言葉自体に新たな疑問が生まれ、ますますわからなくなります。

こうなりますと、経典に仏教の真髓が書かれているといっても、経典から仏教の真髓を読み取ろうとすることは、一般にはやはり難しい、ということになってしまいます。

そこで、仏教の真髓をよりわかりやすく知ってもらう方法として仏像ができたのです。その形を見たり、ふれたりしながら理解できる…。それが仏像の大きな役割です。

慈悲の心

そもそも仏像とは、「仏の姿」を形として表わしたものです。では「仏とは何か」「その仏はどこにいるのか」という問題が出てきます。また、仏像や仏画のように、その仏は「本当に人間と同じ姿、恰好をしているのか」といった疑問も起こってきます。

たとえばお地藏さまの場合、頭が丸坊主で、衣を着て、杖をもっていますが、モデルとなったお地藏さまというのは本当にそういう恰好をしているのか、そしてそれは誰にでも見えているものなのか、といった疑問です。

このように「仏とは何か」という問題を追求していきますと、なかなか難しくなってきます。これらの問題は、この本のⅡの「仏の三身」というところで、詳しくふれますが、ここでは古来、造られ、祀られてきた仏像について、それぞれの形、形態というのが、仏のいったい何を表わしているのか、というところから考えてみたいと思います。

まず仏像は、仏の何を表わしたもののなのか、という問いについては、仏の「心」を表現している、というのが答になります。では「仏の心とは何か」というと、それは仏教の真髄である「慈悲の心」であるということになります。

仏教ではその真髄を「慈悲」といい、キリスト教ではそれを「愛」といっています。その慈悲の心が、仏像の眼差しや口元をはじめとして、手や足の形にまでうまく表現されていないといけないのですが、実際に、それを形として表現するということは、なかなか難しいのです。

◆講 演 “心の健康と音楽活用法”

ポーズ感性工学リサーチ(株) 宮本 徹也様
(紹介 松居君)



便利な文明社会で育った現代人は、身体は自然治癒力だけでなく心の自然治癒力も失っています。五感を使わず、知識や言語を扱う左脳だけが酷使される今の環境下では、脳は本来の健康なバランスを失いせっかく持っている能力を発揮できません。五感に心地良い刺激を与えると右脳が活性化します。怒りやイライラの脳波・β、γ波を鎮め、話題のα波が増して心の自然治癒力が高まってきます。

ポーズ博士はNASAとの共同開発研究の傍ら、ライブに限りなく近い至上の音を再生するために独自のポーズ理論を確立させました。心地良さは感覚・感性と、直接音・間接音・重低音等々その場所に関する徹底的な測定・解析データとの関係を重視するサイココースティックなアプローチ、「技術と感性の融合」こそポーズ博士が目指してきたものです。その集大成と言える、近未来型の家庭用音響機器「VIA」の試聴を通じて、ポーズ理論を知っていただくとともに感動する音の体感をしていただきます。

※お話しの後、ストレス解消法に音楽を楽しみながら心の凝りをほぐして下さいとプロジェクターを使い映像と音でコンサート会場にいるようでした。

麻雀会成績

於：松楓閣 2/15(水)

RANK	NAME	MARK
優勝	佐久間良治	+60,000
2位	水野 賀績	+51,000
3位	竹内 眞三	+1,000
B B	川端 圭	△27,000

今回は当日ご都合が悪くなられた方があり、三好親君と元会員の水野賀績さんをお願いして8名で開催する事が出来ました。

『友』インターネット速報 臨時増刊

2006年2月18日 No.222

2006-07年度国際ロータリーのテーマ発表
2006年国際協議会が、アメリカ・カリフォルニア州サンディエゴで開催されています。
17日午前中(サンディエゴ時間)に開催された開會本会議で、ウィリアムB. ボイドRI会長から、新年度のテーマが発表されました。
新年度のテーマは、
LEAD THE WAY 率先しよう です。

ニコボックス

小山 雅弘 環境保全委員長として 合歡の木の植樹にご協力下さい	伊豫田 博明 川端 圭 紺矢 寛明 黒須 アイ子 宮尾 紘司 森 幸一 尾関 武弘 笹野 義春	加藤 重雄 小林 明 小坂 井盛朗 松居 敬二 三好 親 奥本 文也 佐野 寛 鈴木 正男	鈴木 理之 舎人 経昭 和田 正敏 吉田 節美 西野 英樹 会員誕生日祝い	竹内 眞三 魚津 常義 山本 英次
佐久間良治 麻雀会で優勝しました	油田 弘佑 萩原喜代子 池森 由幸	足立 一郎 林 正路 伊藤 健文	そろそろ花粉の季節です	合計 49,000円

次回例会 平成18年3月7日(火)

卓 話

“仕事で学んだこと”
“中国の諸事情”
“なぜ愛知厚生年金会館の存続なのか”

会員 川端 圭さん
会員 林 正路君
会員 紺矢寛朗君